



債務リスク増えていますか？



新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い、中小企業者への資金繰り支援の強化による融資が昨年から実施されました。多くの中小企業がこの融資を受け、資金繰りの助けになっています。

この融資の大きな特徴が、無利子(3年間)・無担保・据置最大5年となっており、大抵の場合、3年据置で残り7年で返済という条件で融資を受けたケースが多いようです。昨年この融資を受け、元金の返済据置期間を3年で設定した場合、2年後から返済が始まります。

この融資により債務リスクが増えたことを、皆様は理解されていると思いますが、無利子で元金の返済が据置中となれば、日々の資金繰りにまったく影響しないため注意が必要です。数千万単位で融資を受けていれば、大変大きな債務リスクとなります。コロナに振り回され1年半が経ちます。皆様の苦労が続きますが、この債務リスクに備えていきましょう。



<文責：大村>

『アフターコロナ』に期待！

6月上旬の今、日本のワクチン累計接種回数はようやく1,800万回をわずかに超えたところですが、このまま現状の一日当たり約70万回ペースで進んでいけば、8月下旬の累計接種回数予想は約7,000万回となります。仮に想定接種回数を2億回とした場合、接種回数は想定数の概ね30パーセント超となり、**集団免疫**とまではいかないけれども、感染予防や重症化リスクの軽減には十分効果的であると思います。



**接種に当たって、医療関係者をはじめ多くの方々の
ご尽力に心から感謝いたします。**

今後、『ワクチン接種』によって感染対策が全く不要になるとはいうわけにはいきません。しかしながら、われわれの未来が少しずつですが見え始めております。



いままで体験したことのない
コロナ・パンデミックを
乗り越える日は近い、と
期待しております。



<文責：富塚>